

水道施設の利活用に関するサウンディング型市場調査 実施結果（概要）

事業者の水道施設に対するニーズの把握、及び参入可能性のある施設の活用形態について次容赦さまとの対話を実施し、公募に向けた検討材料とすることができましたので報告します。

1 名称

水道施設の利活用に関するサウンディング型市場調査

2 実施経緯

（1）参加受付期間

令和 6 年 12 月 2 日（月）から令和 6 年 12 月 27 日（金）まで

（2）対話実施

令和 7 年 1 月 24 日（金）、1 月 31 日（金） 2 事業者参加

3 対話実施方法

対面

4 提案・意見の概要 ※詳細については別紙参照

（1）関心のある利活用形態（広告・ネーミングライツ・その他利活用）について

2 事業者ともに構造物を対象にした広告掲示・ネーミングライツの設定には関心が薄いことが分かりました。構造物に広告掲示・ネーミングライツを設定すると、当該構造物で漏水等の事故が発生した場合、スポンサー側に苦情が来て不要な対応を迫られたり、会社の信頼が損なわれることを懸念しているという意見がありました。

また、水道用地を活用した事業に関心のある事業者がいることも分かりました。

（2）公募条件について

水道用地の貸与等の対価として、金銭ではなく用地の維持管理とすることも可能との意見がありました。

（3）その他

公募に向けた課題や意見が多数ありました。今後の具体的協議次第ですが、本事業に興味がある旨の意見をいただきました。

5 今後の対応

今回の対話結果を踏まえ、引き続き調整を実施し、公募に向けた具体的な検討を進めます。

<主な対話項目ごとの意見・提案>

番号	項目	意見・提案等
1	市場性があると考えられる施設	・具体的に導入を考えている施設はないが、多くの見学者の来場が見込まれる施設が好ましい。 ・広く目にとまることが予想される水道事務所や浄水場といった施設を想定している。
2	具体的な利活用内容	・広告の内容としては、例えば、当社事業の紹介（断層用の水道鋼管等の PR）を考えている。社名の広告だけでなく、技術力を発信できる形での広告が理想である。 ・水道施設の敷地内でエネルギーの利活用の面から貢献したいと考えており、例えば浄水汚泥を使ってバイオマス発電事業ができないかなどを検討していきたい。
3	希望するスポンサーメリット	・自社の技術力を発信できる形で広告事業や財源確保事業に参画できればと考えている。
4	本調査に参加した理由	・水道施設を活用することにより、自社の技術力発信や、バイオマス発電といった事業展開あるいは調査研究などができるか、その可能性を探るため。 ・水道施設の利活用という新たな試みは、他事業体にも今後波及していくと考えられるため、横浜市の考えを把握したかったため。 ・今回の対話を通して、当社としてどのような可能性があるのかを伺えればと思い、勉強のつもりで参加した。
5	その他	・現時点では、水道局ウェブサイトのトップページに、バナー広告が掲示できれば一番良い形と考えている。 ・今後水道用地の中で、関心があるものについての情報提供を依頼する。